

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	県・町制度資金保証料補給金交付事業	開始年度	
事務事業通番	107110 予算名	商工一般経費	枝番 1
分類区分	ソフト(義務)		補助/単独 単独
事務事業の法的根拠	佐久穂町中小企業振興資金あっせん条例		
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 13 商工業の振興、雇用・起業支援 設定した目標 -
主な施策	13-1 まちなかの商店の振興

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標 -
施策	重要業績評価指標(KPI) -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	町内の中小企業者
事業概要	※保証料とは、長野県保証協会を利用するための対価(融資を返せない場合は、金融機関へ信用保証協会が代位弁済する。しかし、中小企業等は、今度は金融機関ではなく信用保証協会へ弁済する) (1)町制度資金保証料補給金交付事業 中小企業者の事業活動に必要な制度融資を斡旋し、長野県信用保証協会へ信用保証料を補給する。(原則:町4/5、本人1/5) (2)県制度資金保証料補給金交付事業 中小企業者の事業活動に必要な制度融資を斡旋し、長野県信用保証協会へ保証料補給する。(原則:県2/5、町2/5、本人1/5)(県の中小企業振興資金は県負担はないが、南佐久郡の町村において負担実施。原則:町2/5、本人3/5)
	意図
事業実施の経緯・これまで	中小企業者が町融資又は県融資を受けた場合に融資に係る保証料に対して一部補助金を交付してきた。事業者が負担する保証料を町が助成することにより、融資を申し込みやすくなるため、今後も必要な事業であると思われる。 商工業の振興に関わる施策として妥当であり、町内の中小企業が融資を受けるにあたり、必要な事業と思われる。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略	基本目標	-										
	施策	-	-									

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	1,007	1,189	1,889	1,901	240	3,183						
財源内訳	一般財源	1,007	1,189	1,889	1,901	240	3,183					
	国県補助金											
人件費	その他											
	職員数(A)											
	職員数(B)						0.10					
	職員数(C)			0.10	0.10	0.10						
	正職員以外											
	概算人件費	0	0	609	609	609	838	0	0	0	0	0
総事業費	1,007	1,189	2,498	2,510	849	4,021	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

--

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	企業誘致・支援事業補助金	開始年度	
事務事業通番	107110 予算名 商工一般経費	枝番	2
分類区分	ソフト(義務)	補助/単独	単独
事務事業の法的根拠	佐久穂町企業誘致条例、同施行規則、佐久穂町企業支援条例、同施行規則		
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29～R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 13 商工業の振興、雇用・起業支援 設定した目標 B-13 企業誘致件数
主な施策	13-2 工業の振興

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27～R1)	
基本目標	Ⅲ 地域経済創造コミュニティ 地域に根差した「しごと」、「なりわい」の起業や事業育成環境の形成 設定した目標 Ⅲ 新たな事業の起業
施策	Ⅲ-1 地域資源棚卸と地域に根差した事業孵化の仕組みづくり 重要業績評価指標(KPI) Ⅲ-1 地域資源の活用調査及び活用研究数
事業名	Ⅲ-1 (1) 企業誘致事業補助金(スモールビジネス用補助制度)

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26～R2)	R2
活動計画名	

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	0件	1件	1	3	4	2						
創生戦略	基本目標	32件(H22-26)	36件(H27-R1)									
	施策	-	2件(H28-R1)									

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	0	18	108	306	1,311	468						
財源内訳	一般財源	0	18	108	306	1,311	468					
	国県補助金											
	その他											
人件費	職員数(A)											
	職員数(B)					0.10						
	職員数(C)			0.10	0.10	0.10						
	正職員以外											
	概算人件費	0	0	609	609	609	838	0	0	0	0	0
総事業費	0	18	717	915	1,920	1,306	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

--

⑤ 対象	佐久穂町企業誘致条例・・・町外、町内企業、佐久穂町企業支援条例・・・町内企業
事業概要	佐久穂町企業誘致条例(H28年度～H32年度) ①用地取得費補助②新規正規雇用補助③固定資産税補助④賃借料補助⑤下水道使用料補助⑤個人事業向け賃借料補助 佐久穂町企業支援条例(H19年度～) ①用地取得費補助②固定資産税補助
意図	町内における地域経済の活性化と雇用の拡大を図り、佐久穂町の人口維持を図る。
事業実施の背景・これまで経過	平成19年4月から企業立地促進条例(町外企業向け)及び企業支援条例(町内企業向け)が施行された。企業立地促進条例は、5年間の時限立法であり、平成24年3月31日に失効。 平成28年4月より、補助項目、補助率を充実させた企業誘致条例(町内、町外企業問わない)が施行された。この条例も5年間の時限立法である。 町内の商工業振興のため必要な施策であるが、利用件数が低い。 平成29年度に中部横断自動車道の佐久町インター、八千穂高原インターが供用開始となるため、企業誘致にはプラス要因となる。

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	佐久穂町商工会活動事業補助金	開始年度	
事務事業通番	107110	予算名	商工一般経費
分類区分	ソフト(義務)	枝番	3
事務事業の法的根拠	佐久穂町商工会活動事業補助金交付要綱		
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 13 商工業の振興、雇用・起業支援 設定した目標 B-13 新規創業者件数
主な施策	13-1 まちなかの商店の振興

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	Ⅲ 地域経済創造コミュニティ 地域に根差した「しごと」、「なりわい」の起業や事業育成環境の形成 設定した目標 Ⅲ 新たな事業の起業
施策	Ⅲ-1 地域資源棚卸と地域に根差した事業孵化の仕組みづくり 重要業績評価指標(KPI) Ⅲ-1 地域資源の活用調査及び活用研究数
事業名	Ⅲ-1 (1) 若者起業支援システム

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	113 商工会活動補助金
	A

⑤ 対象	佐久穂町商工会
事業概要	佐久穂町商工会活動事業補助金交付事業 ・対象事業:経営改善普及事業(職員人件費) 地域総合振興事業(支部活動事業、青年部助成、女性部助成等)、 その他の事業(商工観光祭、子供みこし等) ・補助率 1/2(一部の人員費は国県補助金を差し引いた額の10/10)
意図	1 商工業者の金融・税務・経理・経営・労務・法律・取引など経営全般について、経営指導員が商工会の窓口、または企業を巡回して相談指導にあたり、支援を行う。 2 多様な事業を実施することにより、地域の活性化に貢献する。
事業実施の経緯・こ	平成18年4月1日に佐久町商工会と八千穂村商工会が合併して佐久穂町商工会が誕生した。商工会では、小規模企業に対しての経営指導、融資の斡旋、講習会の開催、税務対策、労務対策等を行っている。 町からの補助金は、平成18年度13,666千円、平成19年度11,681千円、平成20年度10,936千円と年々下がってきている。 行政改革大綱に基づき、H27年度から補助金を5%減額した。 商工会として、小規模事業者に対しての経営指導、融資の斡旋、講習会の開催、税務対策、労務対策などの経営支援は必要であり、さらに積極的に推進していく必要がある。商工会としても特に製造業向けに注力したい意向がある。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	1件	3件			1件	1件						
創生戦略	基本目標	32件(H22-26)	36件(H27-R1)									
	施策	-	2件(H28-R1)									

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	8,713	9,500	9,500	9,800	10,400	9,500						
財源内訳												
一般財源	8,713	9,500	9,500	9,800	10,400	9,500						
国県補助金												
その他												
人件費												
職員数(A)			0.05	0.05	0.05	0.05						
職員数(B)			0.05	0.05	0.05	0.30						
職員数(C)			0.30	0.30	0.30	0.05						
正職員以外												
概算人件費	0	0	2,741	2,741	2,741	3,316	0	0	0	0	0	0
総事業費	8,713	9,500	12,241	12,541	13,141	12,816	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

--

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	八千穂高原自然園施設管理事業	開始年度	
事務事業通番	107130	予算名	観光一般経費
分類区分	施設管理	枝番	1
事務事業の法的根拠	八千穂高原観光施設条例	補助/単独	単独
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29～R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 14 観光の振興
設定した目標	—
主な施策	14-1 観光資源の充実と活用

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27～R1)	
基本目標	設定した目標 —
施策	重要業績評価指標(KPI) —
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26～R2)	R2
活動計画名	

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	—	—										
創生戦略	基本目標	—										
	施策	—										

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	12,787	2,175	3,145	4,002	4,591	4,667						
財源内訳	一般財源	2,703	-849	29	513	2,322	2,481					
	国県補助金	3,120										
	その他	売上3,564	3,024	3,116	3,489	2,269	2,186					
人件費	職員数(A)											
	職員数(B)			0.15	0.15	0.15	0.15					
	職員数(C)			0.10	0.10	0.10	0.10					
	正職員以外											
概算人件費	0	0	1,866	1,866	1,866	1,866	0	0	0	0	0	0
総事業費	12,787	2,175	5,011	5,868	6,457	6,533	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

--

⑤ 対象	町民、観光客
事業概要	<p>◆料金徴収</p> <p>①大人300円(団体割引200円)※高校生以上</p> <p>②小人150円(団体割引100円)※小人は小学生及び中学生</p> <p>③未就学児童は無料</p> <p>◆施設管理内容</p> <p>①ごみの収集 ②園内の清掃及びパトロール ③水切りや看板等の直し ④管理棟及び合併浄化槽の管理</p> <p>◆実施予定時期</p> <p>(当初:令和2年4月24日)コロナの影響により延期:令和2年5月23日～令和2年11月9日</p>
意図	自然と人がもてなす観光地づくりを目指す。観光地(事業者含む)の活性化。住民及び観光客の誘客。観光地の情報発信拠点。高原ガイドの育成。
事業実施の経緯・こ	<p>優れた自然資源の計画的な保護と利用ならびに自然保護思想の普及徹底をはかるため、長野県が県内の代表的な自然景観地域に自然園を設置した。その一つとして、八千穂高原自然園は昭和46年度に長野県事業として設置された。昭和47年度に長野県から八千穂村へ維持管理が移行された。住民が自然を愛し、親しみ、健全な心身育成に寄与し、合わせて観光の進展を計るために設置された。</p> <p>町有地で国定公園内ということもあり、町で管理する事が適切である。八千穂高原の観光・食・情報発信の拠点の一つになっており、町外・県内外の観光客も多数訪れる。施設管理は、ロッジハケ嶺に委託をしているが、隣接の為、効率は良い。</p>

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	八千穂高原花木園・マレットゴルフ場施設管理事業	開始年度	
事務事業通番	107130	予算名	観光一般経費
分類区分	施設管理	枝番	2
事務事業の法的根拠	八千穂高原観光施設条例		
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29～R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 14 観光の振興
設定した目標	—
主な施策	14-1 観光資源の充実と活用

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27～R1)	
基本目標	設定した目標 —
施策	重要業績評価指標(KPI) —
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26～R2)	R2
活動計画名	59 八千穂高原花木園・マレットゴルフ場施設管理事業
	B

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	—	—										
創生戦略	基本目標	—										
	施策	—										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	1,451	1,440	1,382	1,577	1,884	1,640						
財源内訳	一般財源	1,089	1,064	1,111	1,313	1,700	1,539					
	国県補助金											
	その他	362	376	271	264	184	101					
人件費	職員数(A)											
	職員数(B)						0.10					
	職員数(C)			0.10	0.10	0.10	0.10					
	正職員以外											
概算人件費	0	0	609	609	609	1,447	0	0	0	0	0	0
総事業費	1,451	1,440	1,991	2,186	2,493	3,087	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

⑤ 対象	町民、観光客
事業概要	<p>◆料金徴収</p> <p>1. 花木園 ①大人200円(団体割引150円)※高校生以上 ②小人100円(団体割引70円)※小人は小学生及び中学生 ③未就学児童は無料</p> <p>◆施設管理</p> <p>①ごみの収集 ②園内の清掃及びパトロール ③自然保護の指導 ④観光案内</p> <p>2. マレットゴルフ場(町民は1/2) ①1回券200円 ②シーズン券5,000円 ③クラブ200円</p> <p>◆実施予定時期 令和2年5月23日～令和2年10月13日</p>
意図	<p>自然と人がもてなす観光地づくりを目指す。</p> <p>観光地(事業者含む)の活性化。住民及び観光客の誘客。観光地の情報発信拠点。高原ガイドの育成。</p>
事業実施の経緯	<p>岩石園から花木園へと変更になった。</p> <p>フィールドアスレチック場からマレットゴルフ場へと変更になった。</p> <p>町有地でなおかつ国定公園内という事から、町で管理する事が適切。山野草の開花等(レンゲツツジの時期)により、来場者に増減がある。但し、受付業務を森林組合に委託しているが、来場者が少なく、コスト面は割高となっている。</p>

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	白駒線バス運行事業	開始年度	
事務事業通番	107130	予算名	観光一般経費
分類区分	ソフト(任意)	枝番	3
事務事業の法的根拠		補助/単独	単独
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)		
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり	
施策	重点施策C 14 観光の振興	
	設定した目標	—
主な施策	14-1 観光資源の充実と活用	

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)		
基本目標	設定した目標	—
施策		
	重要業績評価指標(KPI)	—
事業名		

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	—	—										
創生戦略												
基本目標	—	—										
施策	—	—										

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	1,515	1,571	7,368	2,652	1,651	1,947						
財源内訳												
一般財源	1,515	1,571	4,368	2,652	1,651	1,947						
国県補助金			3,000									
その他												
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)												
職員数(C)			0.10	0.10	0.10	0.10						
正職員以外												
概算人件費	0	0	609	609	609	609	0	0	0	0	0	0
総事業費	1,515	1,571	7,977	3,261	2,260	2,556	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

--

⑤ 対象	町民、観光客
事業概要	<p>八千穂高原までの交通手段の確保と観光振興地域発展を目的としている。佐久平駅から麦草峠間を1日2往復する。運行日は季節運行で、土日祝を主に運行している。</p> <p>1便:佐久平駅 ~ 八千穂駅 ~ 麦草峠 ~ 八千穂駅 2便:八千穂駅 ~ 麦草峠 ~ 八千穂駅 ~ 佐久平駅</p> <p>実施予定期間 令和元年5月下旬~10月下旬</p>
意図	北八ヶ岳及び八千穂高原までの交通手段の確保と観光振興地域の発展を目的としている。また、JR小海線との連携や利用状況などから利便性や利用者増につなげる。
事業実施の経緯	<p>平成9年度:白駒線バス運行存続についての協議あり。(定額57,000円※運行収入を控除した額を請求)</p> <p>平成13年度:始発のバス停として「佐久平駅」を設定。それに伴い運行費用の見直し。佐久平駅から増客を見込むのと他路線の増収を見込んだ見直し。年額1,450,000円。</p> <p>平成15年度:運行費用変更。年額1,500,000円。</p> <p>平成25年度の運行より、利便性や利用者増につなげるためルート変更を実施。</p> <p>平成27年度:白駒線バス運行存続についての協議をした結果、運行費用の契約変更を行った。(定額56,160円(税込)ノ日から運行収入を控除した額を受託者である千曲バスに支払う)平日は利用者が少ないので運行せず、行楽シーズンや土日祝、また各団体のイベントに併せた日をバスの運行日に設定していること、利用者は増加傾向にある。平成29年度:信州ディスティネーションキャンペーン実施に伴い、7月~10月までの平日便の増便を行った。平成30年度:信州アフタDC実施に伴い、年間70日の運行を行った。</p> <p>令和元年度:年間42日の運行を行った。</p> <p>令和2年度:八千穂レイク前・駒出池キャンプ場の停留所を廃止。年間41日の運行を行った。</p>

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	観光協会補助金	開始年度	
事務事業通番	107130	予算名	観光一般経費
分類区分	ソフト(任意)	枝番	4
事務事業の法的根拠	佐久穂町補助金等交付規則		
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 14 観光の振興
	設定した目標 B-14 観光客入込数
主な施策	14-2 観光情報の発信

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	Ⅲ 地域経済創造コミュニティ 地域に根差した「しごと」、「なりわい」の起業や事業育成環境の形成
	設定した目標 Ⅲ 生産年齢人口(15~64歳)
施策	Ⅲ-2 地域の資源や町の暮らしに根差すしごと、産品、風土のPRとブランド化
	重要業績評価指標(KPI) Ⅲ-2 ふるさと納税による来町者数
事業名	Ⅲ-2 (1) 高原ガイド育成事業

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	115 佐久穂町観光協会補助金
	A

⑤ 対象	観光協会員(観光業者及び商工業者)
事業概要	佐久穂町の総合的な観光発展に期するため、下記の事業を行う。 1 誘客宣伝活動の実施(問合せ等に対する対応、観光パンフ配布、プレスリリースの実施、誘客キャンペーンの実施) 2 観光イベントの実施(ツールドハヶ岳、フォトコンテスト、高原ガイド付きウォーキング、紅葉祭) 3 環境整備事業の実施(登山道整備の実施)
意図	佐久穂町の自然、施設、文化、食などの資源を活用し、観光事業の振興を図ることにより、佐久穂町の魅力を広く発信して人々との交流を促進し、もって地域経済の活性化を図る。
事業実施の背景・これまで経過	平成18年4月1日に佐久町観光協会と八千穂村観光協会が合併し、佐久穂町観光協会となった。主な活動として、パンフレット作成、誘客キャンペーン、イベントの企画・協賛、登山道・遊歩道の整備等を行い現在に至る。 平成25年度において会員の整理を行った。 行政改革大綱に基づき、H27年度から補助金を5%減額した。 町内において観光事業者が、他事業と比較すると少なく、また観光施設のほとんどを町が作ってきた経過もあるため、町に依存した組織になっている。 協会員が事業企画や実施に関わるような体制づくりを進めており、概ね評価できる。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	17万人	20万人	21万人	21万人	21万人	21万人						
創生戦略												
基本目標	6,114人	5,600人										
施策	0人(H26)	10人/年										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	2,375	2,375	3,875	2,875	2,375	1,615						
財源内訳												
一般財源	2,375	2,375	3,875	2,875	2,375	1,615						
国県補助金												
その他												
人件費												
職員数(A)			0.05	0.05	0.05	0.05						
職員数(B)			0.20	0.20	0.20	0.20						
職員数(C)			0.30	0.30	0.30	0.30						
正職員以外												
概算人件費	0	0	3,999	3,999	3,999	3,999	0	0	0	0	0	0
総事業費	2,375	2,375	7,874	6,874	6,374	5,614	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

--

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	観光宣伝事業	開始年度	
事務事業通番	107130	予算名	観光一般経費
分類区分	ソフト(任意)	枝番	5
事務事業の法的根拠		補助/単独	単独
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 14 観光の振興
設定した目標	B-14 観光振興に関する取組満足度
主な施策	14-2 観光情報の発信

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	Ⅲ 地域経済創造コミュニティ 地域に根差した「しごと」、「なりわい」の起業や事業育成環境の形成
設定した目標	Ⅲ 生産年齢人口(15~64歳)
施策	Ⅲ-2 地域の資源や町の暮らしに根差すしごと、産品、風土のPRとブランド化
重要業績評価指標(KPI)	Ⅲ-2 ふるさと納税による来町者数
事業名	Ⅲ-2 (1) 広域観光

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	21.3%(H28)	0.25										
創生戦略	基本目標	6,114人	5,600人									
	施策	0人(H26)	10人/年									

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	3,775	2,756	1,824	2,617	2,728	3,089						
財源内訳	一般財源	3,775	2,756	1,824	2,617	2,728	3,089					
	国県補助金											
	その他											
人件費	職員数(A)											
	職員数(B)			0.50	0.50	0.50	0.50					
	職員数(C)			0.50	0.50	0.50	0.50					
	正職員以外											
	概算人件費	0	0	7,236	7,236	7,236	7,236	0	0	0	0	0
総事業費	3,775	2,756	9,060	9,853	9,964	10,325	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

--

⑤ 対象	町民・観光客
事業概要	各種宣伝媒体の活用 定期放送 FM佐久平(毎月第3火曜日生放送) FM軽井沢(録画放送毎月2回)などラジオ及びテレビへの出演。新聞・雑誌・機関紙等への花の開花状況・イベント情報などの情報提供及び広告宣伝。ソールドハケ岳・町のさくほいずら出展、駒出池キャンプ場の火祭り・小海線まつり・紅葉祭の出展、各種団体主催のイベントへの観光宣伝 JR東日本及びネクスコ中日本、旅行会社とのタイアップによるイベント参加及び観光宣伝 長野県内及び近県への観光PR及び営業。八十二銀行各支店等のディスプレイ展示。 銀座NAGANOへ観光協会との共同出展。 信州ディスティネーションキャンペーンに絡めたPR活動
意図	観光情報の提供により、より多くの観光客の誘致を図る。誘客促進を図り、地域産業の振興・発展に資する。但し、観光宣伝事業は、すぐには事業効果が表れにくいものと考えられる。その都度、町に必要な宣伝媒体、対象、場所など、そして何をPRするかを見直し、各種イベントへの参加及び各種宣伝媒体を活用し、地道に発信することが成果へとつながると考えられる。
事業実施の経緯・こ	観光施設・観光地・特産物・ひとを紹介することは、町全体のイメージアップ等のイメージ戦略にとって、観光宣伝事業は必要である。すぐに事業効果が表れる物ではないものの、コストを考え、地道に発信することが必要である。 2017夏信州ディスティネーションキャンペーン・JR東日本 小海線「のってたのしい列車」 ・JTB 日本の旬、信州 はじめての山歩(さんぽ) 2018夏信州アフターディスティネーションキャンペーン

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	自然環境整備支援事業	開始年度	
事務事業通番	107130	予算名	観光一般経費
分類区分	建設・整備	枝番	7
事務事業の法的根拠		補助/単独	補助
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 14 観光の振興
	設定した目標 -
主な施策	14-1 観光資源の充実と活用

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標 -
施策	重要業績評価指標(KPI) -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	町民、観光客
事業概要	<p>自然環境性支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国主導の県補助金。事業費の45パーセントが補助される。 ・実施した事業の概要は次のとおり <p>①遊歩道の整備 ②防護柵設置 など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所 ①古谷溪谷 ②八千穂高原
意図	町単独事業だけでは難しい観光施設の整備を、補助事業を取り入れて実施することにより町財政への負担を少なくして進める。
事業実施の背景・これまででの経過	<p>必要な事業は実施計画に計上し、計画的に事業を進めていく。</p> <p>古谷溪谷の代表的な観光スポットである乙女の滝への遊歩道。工事は観光客が多い期間は避け、安全第一で施工した。落石が非常に多い箇所であるため、修繕工事に併せて落石注意看板も設置した。</p>

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	6,933	7,290	0	0	0	0						
財源内訳												
一般財源	3,813	4,010										
国県補助金	3,120	3,280										
その他												
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)												
職員数(C)												
正職員以外												
概算人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	6,933	7,290	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

--

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	八千穂レイク管理釣り場	開始年度	
事務事業通番	107140	予算名	休養施設一般経費
分類区分	施設管理	枝番	2
事務事業の法的根拠	八千穂高原観光施設条例		
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 14 観光の振興
	設定した目標
主な施策	14-1 観光資源の充実と活用

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標
	—
施策	重要業績評価指標(KPI)
	—
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)			
活動計画名	62	八千穂レイク管理釣り場	R2
			B

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略	基本目標	-	-									
	施策	-	-									

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	6,962	7,702	6,704	6,320	6,564	5,146						
財源内訳	一般財源	-2,279	-1,154	-1,304	-2,327	-1,859	1,236					
	国県補助金											
	その他	9,241	8,856	8,008	8,647	8,423	6,382					
人件費	職員数(A)											
	職員数(B)			0.10	0.10	0.10	0.10					
	職員数(C)											
	正職員以外			3700	3145	3258	2870					
概算人件費	0	0	5,130	4,487	4,618	4,168	0	0	0	0	0	
総事業費	6,962	7,702	11,834	10,807	11,182	9,314	0	0	0	0	0	

⑧ 内部取扱事項

⑤ 対象	釣り客、町民、観光客
事業概要	◆料金徴収 管理釣り場 日大人 1日券 3,500円 半日券2,700円 釣りっコランド 1回1,500円 シーズン券 27,000円
	◆施設管理 受付、喫茶業務、場内巡回
意図	八千穂レイク管理釣り場の来場者と収入は近年上昇しており、日本の有数な管理釣り場としてブランド化されている。また、白樺群生地に位置する景観と遊歩道の整備が完了したことにより、散策者が急増している。今後、釣り客と一般観光客との融合を図り、自然体験エリアとしてのブランド化を図る。
事業実施の背景・これまでの経過	平成29年で現在の形「八千穂レイク管理釣り場」として、11シーズンを迎えた。八千穂レイクの夏季湖面利用として、管理釣り場の営業を始めるまで、いろいろと検討され現在の形となった。白樺群生林に位置していることから、釣りばかりでなく、周囲の自然を好むお客さまが増えている。大物で引きの良い魚がいることで有名になり、フロートチューブを使った遊漁もしている。お客様から提案いただいたことを、当施設でできるものであればとりいれていくようにしている。利用料金の見直し(値上げ)もある時期で必要かと思うが、現状で継続的に運営していく。
	施設周辺は、自然環境も良く、釣り人にとどまらず、散策の観光客も多い。施設環境を維持しながら、施設利用・来町者の満足度を向上させていきたい。管理釣り場の経営を続けることにより、周囲の環境を維持していける面も持ち合わせている。主な支出は、臨時職員賃金・魚代金であり、コスト面からみると、有効な観光施設である。 単独での経営状況がそこまで悪くなく、しかしながら経費も増加しているため、更なる顧客獲得の工夫や、場合によっては利用料金の見直しが必要かと考えます。

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	駒出池キャンプ場	開始年度	
事務事業通番	107140	予算名	休養施設一般経費
分類区分	施設管理	枝番	3
事務事業の法的根拠	佐久穂町八千穂高原観光施設条例		
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 14 観光の振興
設定した目標	—
主な施策	14-1 観光資源の充実と活用

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標 —
施策	重要業績評価指標(KPI) —
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	63 駒出池キャンプ場
	S

⑤ 対象	町民、観光客
事業概要	<p>◆料金徴収 サイト料 大人1,200円 こども600円 駐車場 500円 オートサイト2,000円 バンガロー 8,000円 コテージ 15,000円 休憩料 300円 他レンタル用品など ※町民割引 - 駐車料、休憩料</p> <p>◆施設管理 受付 場内巡回 清掃業務 観光案内 自然観察ガイド バードウォッチング</p>
意図	<p>景観の良いキャンプ場として支持を得ており、自然環境及び施設の維持管理を行っていく。 八千穂高原全体のアウトドア体験のベースとなっており、八千穂レイク、自然園等他施設と連携することにより顧客の増加に努める。</p>
事業実施の経緯・こ	<p>合併前の八千穂村から経営。 当初は、村直営。昭和59年から八千穂村開発公社に管理を委託。平成5年度まで。 その後、直営となり、現在に至る。 キャンプ場の来場者と収入は近年上昇しており、高評価を得ている。 管理が行き届いていること、自然をうまく利用したサイトレイアウト、自然を好むお客様などから評価は高く、利用料金や施設についての苦情は少ない。 アウトドアブームは継続しており、利用者数・収入共に右肩上がりの状況にある。アンケートによると、当キャンプ場はリピート率が高く、来場者から高い評価を得ている。有効性は高いと考えるが、公設公営であり、改善の余地はあると思われることから、妥当性・効率性は低いと考える。</p>

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	10,693	11,453	11,506	11,339	0	0						
財源内訳												
一般財源	-11,907	-9,516	-9,010	-11,043								
国県補助金												
その他	22,600	20,969	20,516	22,382								
人件費												
職員数(A)			0.10	0.10								
職員数(B)			0.30	0.30								
職員数(C)			2.50	2.50								
正職員以外			1950	2223								
概算人件費	0	0	20,987	21,304	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	10,693	11,453	32,493	32,643	0	0	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

--

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	別荘一般経費	開始年度	
事務事業通番	107150	予算名	別荘一般経費
分類区分	施設管理	枝番	0
事務事業の法的根拠	八千穂高原別荘等の用地貸付規則、八千穂高原別荘地の管理に関する規則、借地借家法		
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策C 地域に根差した活力ある産業のまちづくり
施策	重点施策C 14 観光の振興
	設定した目標 -
主な施策	14-1 観光資源の充実と活用

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標 -
施策	重要業績評価指標(KPI) -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略	基本目標	-										
	施策	-										

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	27,908	29,013	29,890	33,328	25,410	20,019						
財源内訳	一般財源	-91	-1,239	-10,349	-3,743	-10,892	-11,291					
	国県補助金											
	その他	27,999	27,774	40,239	37,071	36,302	31,310					
人件費	職員数(A)			0.05	0.05	0.05	0.05					
	職員数(B)			0.10	0.50	0.50	0.60					
	職員数(C)			0.50	0.10	0.10	0.00					
	正職員以外 概算人件費	0	0	7,111	7,958	8,246	8,511	0	0	0	0	0
総事業費	27,908	29,013	37,001	41,286	33,656	28,530	0	0	0	0	0	

⑧ 内部取扱事項

--

⑤ 対象	八千穂高原別荘地土地賃貸借契約者
事業概要	<p>1. 八千穂高原別荘地管理運営に関する業務</p> <p>①新規貸付、契約更新に係る業務 ②名義変更、住所変更に係る異動処理 ③別荘料金等の徴収 ④各種案内業務 ⑤別荘地内防犯/パトロールの実施、防犯灯の管理 ⑥別荘地内の草刈、支障木除去、除雪等維持管理 ⑦一般廃棄物の処理業務</p> <p>2. 八千穂高原専用水道に関する業務</p> <p>①水道施設の保全に関する業務 ②水道検査の実施 ③水道本管布設替工事の実施及び状況確認</p> <p>3. 八千穂高原別荘地内道路に関する業務</p> <p>①専用道路維持管理 ②道路補修工事の実施</p> <p>4. 八千穂高原別荘テレビ共同受信施設に関する業務</p> <p>①テレビ共同受信施設およびケーブルの維持管理 ②組合加入契約者への料金徴収</p>
意図	自然と人がもてなす観光地づくり。
事業実施の経緯・こ	<p>昭和41年から当時の八千穂村が、村有林の有効活用を目的に別荘開発をおこない、1136区画を分譲。分譲の形式は、土地の賃貸、管理委託(土地だけ、建物あり)、施設協力費で始まった。料金体系は、その後、現状のものへと移行。400件以上ある別荘は職員1名で管理している。年々老朽化する水道管や道路等の修繕工事、成長する樹木の伐採作業は必要である。別荘収入から、基金として500万円を積み立て、修繕工事等実施している。(H26.27.28.29年度は250万円。)</p> <p>別荘契約者の多様な意見要望に応えながら、共に協力し合い、安心して別荘ライフを送っていただけるよう、今まで通りきめ細かな管理運営が必要である。老朽化による水道管及び配水池、道路等の修繕工事、支障木伐採作業等、例年通り実施していく。</p>